



**グリーンチャンネル解説者**  
**黒津 紳一** **松原 正行**

先着組に残られた前回も脚を余すぐらいの伸び。牝馬相手だったとはい。一線級で十分だった。フェブリリアント。切れた生きた平坦新潟は抜群の好相性。差し切り期待。

**血が騒ぐ山野浩一**

リーディングサイヤのランキングは取得賞金の集計だが、馬券に役立つという点では勝ち数のランキングが重要だ。G1レースではあるが未勝利戦であろうが馬券は勝てば中となる。現在の賞金はキングダムハムハで、取得賞金で首位のデイブインバクトの2倍近い勝ち数を上げています。2位はさほど差がなくサウスウィングスで、3位はステイゴールド。意外な成績だが、だからこその馬券にはうまい味があるといえる。サウスウィングスはダート短距離ステイゴールドは芝の中距離に絞れるので全部買ったのもいい。ゴールドベルはそんなステイゴルド産駒で、前走を凡走しても次にはまた快走というタイプの子馬

もやれる、という感触は得た。馬込みで折り合って直線に向ければ面白い。

○**ゴールドベル** (入着級) 庄野師前回は直線で前が壁になった。展開の助けは欲しいが、マイルはこなせるようになった。デキの良さに期待。

○**ヤングマンパワー** (要注) 平塚助手 函館から木曜に新潟へ輸送。先週、併せ馬をやって直前は控えて十分。成長途上だけど、鞍上も手の内に入れて吉馬らし、スムーズに運べれば古馬相手も差はないと思う。

○**エキストラランド** (要注) 吉岡助手 放牧でひと息入れたが、うまく仕上がった。スランプだった昨年夏と比べて、今は前向きである。見直せそう。

○**レッドアリオ** (巻き返す) 橋口弘師前回は出負けして挟まれた後から、外を回るロスもあってコマ3秒差。ゲートも普通に出て、好位で流れに乗ればチャンスは十分。

**新潟 11R** 追われてから反応機敏 軌道に乗った

1サトノギャラント	美坂	柴山	56.6	41.5	13.6	強めに併	
8南C芝新上野翔			71.9	55.7	40.7	11.8	馬なり併
15美坂上翔 561 411						132馬なり遅	
22南BW新上野翔			68.7	53.7	39.4	12.5	馬なり併
29美坂上翔 550 403			131馬なり併	2美坂助手 543	402	142	馬なり併
5南BW新上野翔			68.5	52.2	38.1	12.8	強めに併
9美坂上翔 552 400			125馬なり先	12美坂柴山 545	397	127	馬なり併

7月初めから十分乗り込む。力は出せる状態。

○**アルパタックス** 栗坂 助手 52.8 38.1 12.6 一杯追先  
5栗坂助手 574 424 144馬なり 12栗坂助手 520 381 124一杯追先  
(古5000ウィッセン一杯を走し1騎半先着)

○**しぶとい走りを見せて先着。デキ落ちはなく元気。** [B]

○**ゴールドベル** 栗坂 松山 51.2 38.3 12.9 馬なり  
5栗坂助手 577 419 134馬なり 12栗坂助手 543 383 122一杯追先  
(古ノカマヤノリュウジン強めで先行併入)

◎**関屋記念優勝馬の前走成績**

年	馬名	出走	着	タイム	差
19	年カナン	1	1	1:28.0	0.0
20	年マルカシエ	1	1	1:28.0	0.0
21	年スマイルジャック	1	1	1:28.0	0.0
22	年レッツボーリキリシヤク	1	1	1:28.0	0.0
23	年レインボーベガサ	1	1	1:28.0	0.0
24	年ドナウブルー	1	1	1:28.0	0.0
25	年レッドスパバ	1	1	1:28.0	0.0
26	年クラレント	1	1	1:28.0	0.0

**ジョッキータブ**

馬名	率
①ルメ	181
②メ	163
③福川	158
④戸武	143
⑤戸武	136
⑥戸武	136
⑦戸武	129
⑧戸武	121
⑨戸武	109
⑩戸武	109

**JRA中間発表 馬番連勝オッズ**  
(午前10時現在)

馬番	連勝	オッズ
1	10	128.8
2	10	103.0
3	10	20.6
4	10	37.9
5	10	12.9
6	10	49.2
7	10	81.1
8	10	188.4
9	10	221.8
10	10	57.1
11	10	12.5
12	10	13.7

この目標を立て直す。力強い脚さばきで状態万全。 [B]

○**エールブリーズ** 栗坂 助手 52.5 38.0 12.7 一杯追  
7栗坂助手 554 397 132馬なり 12栗坂助手 527 378 126G前追  
前走を境に気配が良くなった。安定感もアップ。 [B]

○**スマートオ南W稍** 66.4 51.1 38.1 12.8馬なり先  
9南BW稍助 手 55.5 39.8 13.1馬なり  
12南BW稍助 手 52.1 38.2 12.8G前強運  
(除未勝レッドヴィン馬なりの内3Fより半駒遅れ)

○**前走状態をキープする調整。脚どりが鋭く、好気配。** [B]

○**マジステア栗(不)** 82.1 65.6 51.2 38.1 12.0未強め  
4栗CW良助 手 89.5 72.9 57.1 42.3 14.5馬なり  
5栗CW良助 手 83.5 66.8 51.3 37.7 12.1馬なり  
12栗CW良助 手 97.4 64.7 50.9 37.6 12.5馬なり先  
(古1000マルカファイブ強めの外を追走半駒先着)

○**騎手騎乗とはいえ機敏な走り。仕上がり及第点。** [B]

○**カフェブリ南W稍** 70.1 52.9 39.0 12.8馬なり併  
30南BW稍助 手 67.8 53.5 38.0 12.9馬なり  
6南BW稍助 手 70.0 54.1 37.9 12.8馬なり  
9栗坂助手 572 420 131馬なり  
12南BW稍助 手 69.0 54.1 39.9 12.7G前強

○**ひと息入れてリフレッシュ。好気配で仕上がり早。** [B]

○**アルマディヴァン** 美坂 助手 55.8 40.1 12.7G前強先  
9栗坂助手 539 380 123馬なり 12栗坂助手 569 399 123馬なり

○**スパットと伸びて気迫溢れる走り。充実ぶり目立つ。** [A]

○**シャイニー南W稍** 69.1 53.5 38.8 12.7G前強先  
12南BW稍助 手 53.7 38.8 12.5G一杯追  
15南BW稍助 手 69.4 54.9 40.6 13.2馬なり併  
22南BW稍助 手 69.6 54.2 40.2 12.7馬なり先  
29南BW稍助 手 66.1 51.5 37.5 12.3強めに先  
5南BW稍助 手 66.2 51.4 38.0 12.6強めに先  
12南BW稍助 手 69.6 54.3 39.7 13.3馬なり併  
(新馬ヤマニリュウセイ馬なりの内を追走併入)

実戦同様、追って味がある。体調自体は悪くない。 [B]

○**ヤングマン南W稍** 68.1 52.6 38.4 12.8強めに遅  
26南館W重助 手 74.9 58.8 43.8 14.9馬なり  
29南館W稍松 岡 岡 68.9 53.8 39.6 12.5馬なり併  
6南館W良松 岡 岡 65.2 50.4 37.6 13.2G一杯追先  
12南館W良助 手 71.0 55.5 40.5 13.3馬なり

○**函館で調整。素質はあるが、もうひと追いほしい。** [C]

○**エキストラ栗(不)** 73.5 56.2 40.6 12.3強めに遅  
26栗坂助手 562 398 129馬なり 29栗坂助手 575 408 125馬なり  
2栗CW良助 手 55.0 38.8 12.2馬なり併  
5栗CW良助 手 83.8 67.1 52.6 39.2 12.5馬なり併  
9栗CW良助 手 53.2 38.9 11.9強めに併

○**追われると機敏に反応。間隔あいたが好仕上がり。** [B]

○**レッドアリオ** 栗坂 助手 52.1 38.3 12.4 未強め先  
9栗坂助手 565 414 133馬なり 12栗坂助手 523 383 129馬なり併  
(古1600ダノマックイン馬なりの追走併入)

○**中身の濃い併せ馬を消化。前走案外でも侮れない。** [B]

**11R 3連複** 上位1~25%  
 3511 18.4  
 1511 19.6  
 5111 20.9  
 3111 22.9  
 1111 23.9  
 1311 24.1  
 135 25.9  
 3512 27.6  
 1512 33.6  
 4511 35.2  
 4112 37.0  
 1411 37.8  
 3411 38.2  
 5711 42.5  
 1312 42.7  
 1711 47.0  
 7111 47.6  
 3711 47.9  
 4711 52.8  
 345 56.0  
 356 62.3  
 156 64.6  
 145 71.0  
 3412 75.2  
 134 81.4

**11R 3連単** 上位1~25%  
 531 83.9  
 5312 96.2  
 5111 97.3  
 5311 97.4  
 5113 98.8  
 3511 104.5  
 5111 106.8  
 3511 107.2  
 3512 107.9  
 153 110.0  
 5113 110.7  
 1151 112.2  
 5112 121.6  
 1153 122.3  
 1253 122.5  
 5123 122.7  
 3115 123.0  
 5121 123.2  
 1511 126.3  
 1235 126.3  
 1211 126.7  
 5112 129.4  
 1512 129.8  
 3125 130.2

**新潟芝1600m**  
 ジョッキータブ連対率ベスト10  
 ① 蛭名 .312  
 ② 松戸 .310  
 ③ 北村宏通 .238  
 ④ 勝安浦 .232  
 ⑤ 柴田善 .225  
 ⑥ 田中勝 .202  
 ⑦ 田辺 .183  
 ⑧ 吉田匡一 .171  
 ⑨ 内田博 .170  
 ⑩ 吉内博 .170  
 2010~2014年  
 30騎乗以上

成績欄の各馬の上がり時計では太字で表記することにしました。検討の際のご参考に。

**新潟11R 馬単**

馬番	連勝	オッズ
1	2	207
2	1	33.4
3	1	76.8
4	1	25.5
5	1	92.9
6	1	106
7	1	87.0
8	1	495
9	1	102
10	1	38.4
11	1	33.4
12	1	43.3

**調教メモ欄の見方**  
 □は前走より良化、△は調子下降、○は前走なみ(好調馬は好調持続。不振馬は良化なし)を表します。なお、末尾の[A]~[E]は当社トラックマンが5段階に分類した調教採点です。  
 例...□△Aは調子上昇、絶対調を表します。

☆**関東所属ジョッキー**

順位	騎手名	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1	戸田	27	16	10	15	106	177	57	30.0	5	32.9
2	崎田	18	108	284	177	196	194	159	164	117	111
3	田中	15	106	177	196	194	159	164	117	111	111
4	横山	15	106	177	196	194	159	164	117	111	111
5	吉田	15	106	177	196	194	159	164	117	111	111
6	北村	11	10	12	14	112	149	116	117	111	111
7	内田	10	12	14	112	149	116	117	111	111	111
8	勝	10	12	14	112	149	116	117	111	111	111
9	吉田	10	12	14	112	149	116	117	111	111	111
10	丹	8	11	7	7	73	192	111	111	111	111

(8月9日まで)

1馬連平均1870円  
 本命決着ないが、連対9頭が連対人気以内 上位拮抗

2年齢別対数  
 4歳12、3歳は(0015)、6歳2

3重賞実績  
 連対8頭はG1着あり

4ステップ  
 安田記念出走馬(2110)

5調子  
 中京記念組は(111119)で、好走3頭は中京記念では(14)着だった。

6結論  
 エキストラランド

関屋記念 過去5年

年	1着	2着	3着	4着	5着	6着	7着	8着	9着	10着	11着	12着
22新	1600	56	189	189	189	189	189	189	189	189	189	189
21新	1600	56	189	189	189	189	189	189	189	189	189	189
20新	1600	56	189	189	189	189	189	189	189	189	189	189
19新	1600	56	189	189	189	189	189	189	189	189	189	189

**これで決まり!** 大川浩史

中央記念8着は吉兆  
 前走中京記念(1)着馬は関屋記念(0008)。そして中京記念(1)着馬が関屋記念(1)着馬(0008)の弟。エリモビク関屋記念(1)着馬は、東京の上りの速い競馬に強い馬が多く、レッドアリオは(右回り)をこなす点を除けば兄と同様に、中京記念(1)着馬の関屋記念優勝!

☆**成績欄に前年3F時計**  
 「各馬の前年3ハロン通過時計」を、成績欄の通過欄の右側に表記しております。各馬のタイム力の比較、検討に役立てていただければ幸いです。なお、レースの流れは馬体重の横に「H」「M」「L」平均、S「S」ローのそれぞれ丸囲み表記で示しております。  
 なお、千メートルのレースについては、前半2ハロンの時計を表記しております。また、障害戦の一部の公営競馬については計測できませんで省略しております。

芝の内、外回りともに差し馬天国。逃げ馬好きでも、さすがに頭は切り替えました。この日はダート競馬、まずは①Rの狙いはジョイントパイア。デビュー戦も買っていました。二の足を止めて苦しむ位置取り。高きで見せて上り、素質の高さが見えます。十分すぎる乗り込み量を消化、一度競馬を使った効果は大きく、圧勝までの期待をしております。

ダート千ハはこの時期の2歳馬にとって、かなりタフな条件となる。Rの新馬。筋肉に恵まれた好馬体を持ち、アオテンに注目。稽古では、その好馬体をフルに生かした迫力満点の動きを披露。関西馬相手でも決して見劣ることのない逸材です。

関屋記念 過去5年

年	1着	2着	3着	4着	5着	6着	7着	8着	9着	10着	11着	12着
22新	1600	56	189	189	189	189	189	189	189	189	189	189
21新	1600	56	189	189	189	189	189	189	189	189	189	189
20新	1600	56	189	189	189	189	189	189	189	189	189	189
19新	1600	56	189	189	189	189	189	189	189	189	189	189

芝の内、外回りともに差し馬天国。逃げ馬好きでも、さすがに頭は切り替えました。この日はダート競馬、まずは①Rの狙いはジョイントパイア。デビュー戦も買っていました。二の足を止めて苦しむ位置取り。高きで見せて上り、素質の高さが見えます。十分すぎる乗り込み量を消化、一度競馬を使った効果は大きく、圧勝までの期待をしております。

ダート千ハはこの時期の2歳馬にとって、かなりタフな条件となる。Rの新馬。筋肉に恵まれた好馬体を持ち、アオテンに注目。稽古では、その好馬体をフルに生かした迫力満点の動きを披露。関西馬相手でも決して見劣ることのない逸材です。

芝の内、外回りともに差し馬天国。逃げ馬好きでも、さすがに頭は切り替えました。この日はダート競馬、まずは①Rの狙いはジョイントパイア。デビュー戦も買っていました。二の足を止めて苦しむ位置取り。高きで見せて上り、素質の高さが見えます。十分すぎる乗り込み量を消化、一度競馬を使った効果は大きく、圧勝までの期待をしております。


ダート千ハはこの時期の2歳馬にとって、かなりタフな条件となる。Rの新馬。筋肉に恵まれた好馬体を持ち、アオテンに注目。稽古では、その好馬体をフルに生かした迫力満点の動きを披露。関西馬相手でも決して見劣ることのない逸材です。

芝の内、外回りともに差し馬天国。逃げ馬好きでも、さすがに頭は切り替えました。この日はダート競馬、まずは①Rの狙いはジョイントパイア。デビュー戦も買っていました。二の足を止めて苦しむ位置取り。高きで見せて上り、素質の高さが見えます。十分すぎる乗り込み量を消化、一度競馬を使った効果は大きく、圧勝までの期待をしております。

ダート千ハはこの時期の2歳馬にとって、かなりタフな条件となる。Rの新馬。筋肉に恵まれた好馬体を持ち、アオテンに注目。稽古では、その好馬体をフルに生かした迫力満点の動きを披露。関西馬相手でも決して見劣ることのない逸材です。

**発見 新馬**

小曾大祐



# 競馬人情 吉川良

先週、ウインズ横浜でのこと。新潟10R 幕進特別の馬単③-④ 24倍というのを10000円、めずらしくも私が出ていた。たまにはおれだっアタラるところがあるのだと、

「見てくれ」

いっしょにテレビを見ていた工務店を営むエノさんにアタリ馬券を突きつけた。

60歳のエノさんは、もう20年、『日刊競馬』の客である。

「ダノンリパティが本命か。クローズへ馬単⑫-①、⑫-⑨の2点勝負と書いてあったね」とエノさんは、私のコラム「競馬人情」のことを言った。



夏の快速重賞「関屋記念」。今年も速いタイムで決着すること必至だが、近年、新潟のマイル戦は前半スローの後半勝負。最後の直線が約660mもあるため、後半のスパイク合戦になる形が多い。

スローが顕著になった最近7年の平均勝ち時計は「1分32秒5」と速いが、バランスは、『前半47秒0-後半45秒5』が平均パターン。レース上がりが32秒台になったことが2回もある。

高速上がりは、2段加速のできる先行型向きであると同時に最後の「爆発力」にかける追い込み馬にも不利はない。

スローペースでこそ、その差は馬は①サトノギヤラント。2走前の谷川岳Sは、自身「61秒8-31秒9」だった。昨年の谷川岳Sもスローを利して、上がり32秒3で②着に突っ込んだ。昨年の関屋記念は稍重のうえにスローではなく、「59秒1-

「ダノンリパティに賭けてるわけよ」

「そういう場合、①-⑫、⑨-⑫というウラは買わないの？」

「買わない」

「買った私は、」

「オトコだねえ」

たぶん、エノさんといっしょでなかつたら、ウラも買ってるなとレースを見てみると、⑨-⑫の決着だった。

「仕方ない」

強がってみせた私だったが、心のなかでは泣いていた。

関屋記念はカフエブリアンを応援。馬単⑤-①、⑤-③、⑤-⑫。エルムSはクリノスターオーの底力に期待。馬単⑫-③、⑫-④、⑫-⑬。

33秒6」-1分32秒7。インに突っ込み0.2秒差③着にとまっているが、今年は12頭立て。馬群はさばきやすい。

柴山騎手との新潟1600mは「1100」。少し遅れ気味のスパイクが絶妙に合う。

体調を崩していた種牡馬マンハッタンカフエが13日、腹腔内腫瘍のため死亡してしまった。

まだ17歳。天皇賞(春)のヒルノダムール、NHKマイルCのジョーカブチーノ、秋華賞のレッドダイヤア。

そして札幌Rに出走するフェブラリースの勝ち馬グレーブブランドーなど、父サンデーサイレンスにもっとも似ているとされたマンハッタンカフエは、さまざまタイプの子孫を送る優れた種牡馬だった。

初産駒が5歳に達した09年にはチャンピオンサイアーに輝くなど、種牡馬ランキングは08年以降(⑨⑤⑥⑨⑦⑧⑦位)である。

きょうは④Rリガードリング、アラホウジョウ、⑩Rレックドカーラ、前出グレーブブランドーなどが有力馬。〔柏木〕